

ここからはじまる、
わたしの未来



I'm specialist!

武生看護専門学校



一人一人のいのち・暮らし・尊厳を まもり支えることのできる『看護師』に…



アドミッションポリシー



1. 人に対する関心と思いやりを持って関わろうとする人
2. 物事を誠実に考え行動に責任を持つ人
3. 主体的に学ぶ意欲を持っている人
4. 心身の健康を自己管理できる人
5. 看護師を目指す明確な意思を持っている人



教育の特徴

豊かな人間性の育成・コミュニケーション 能力の向上を目指した教育

- ・人間関係論をはじめとした各科目
における演習
- ・県内のさまざまな施設での実習
- ・学年間の交流が持てる教科外活動



自ら課題を見つけ主体的に問題解決に 取り組む力を育む教育

- ・フィールドワーク学習
- ・グループワークやゼミナール方式を
取り入れた学習
- ・自らテーマを設定したカンファレンス



看護に必要な知識・技術の修得に向け、学習環境・サポート体制の充実

- ・少人数グループ体制によるきめ細やかな実習指導
- ・臨地実習や国家試験対策に関する学年間の意見交換会
- ・講義や実習におけるICTの活用
- ・専門看護師・認定看護師による講義



教育の目的

看護専門職として必要な知識・技術を修得するとともに、豊かな人間性と社会人基礎力を育みながら自己成長し、地域社会に貢献し得る看護実践者を育成する



教育の目標



カリキュラム

1 学 年	教育学	文学	栄養学	保健医療学	地域・在宅看護論概論Ⅰ
	哲学	英語Ⅰ・Ⅱ	薬理学	看護学概論	基礎看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	情報科学Ⅰ・Ⅱ	保健体育	微生物学	成人看護学概論	基礎看護学方法論Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ
	学習の基盤Ⅰ	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	病理疾病論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	小児看護学概論	基礎看護学方法論Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ
	心理学	解剖生理学演習	病理疾病論Ⅳ・Ⅴ	母性看護学概論	老年看護学概論Ⅰ・Ⅱ
	社会学	生化学	病理疾病看護論		
基礎看護学実習Ⅰ					
2 学 年	学習の基盤Ⅱ	関係法規	地域・在宅看護論概論Ⅱ	地域・在宅看護論方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
	人間関係論Ⅰ・Ⅱ	基礎看護学方法論Ⅹ	成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	成人看護学方法論Ⅳ・Ⅴ	
	病理疾病論Ⅵ	小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	
	公衆衛生学	看護マネジメントⅠ	精神看護学概論	精神看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
	社会福祉Ⅰ・Ⅱ		災害看護	看護の統合と実践Ⅰ	
基礎看護学実習Ⅱ					
老年看護学実習Ⅰ					
3 学 年	母性看護学実習 ・ 小児看護学実習 成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・ 老年看護学実習Ⅱ 精神看護学実習 ・ 地域・在宅看護論実習				
	看護マネジメントⅡ		看護の統合と実践Ⅱ		
	統合実習				



国家試験対策支援

1 学年

国家試験の概要についてオリエンテーションを受ける。履修科目を確実に修得できるように学習。低学年模擬試験で看護の基盤となる解剖生理・病理疾病論の知識の定着度を確認。国家試験に向けた学習方法について、3学年学生から情報収集。

2 学年

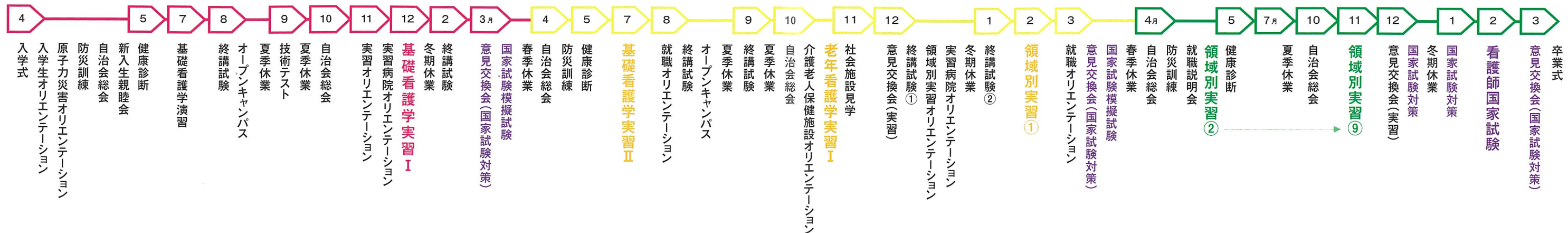
履修科目を確実に修得できるように学習。低学年模擬試験で看護学全領域の知識の定着度を確認。国家試験に向けた学習方法について、3学年学生から情報収集。

3 学年

国家試験頻出内容と実習をつなげて学習。模擬試験で国家試験出題内容全般の知識の定着度を確認。国家試験本番レベルの問題に定期的に取り組む。医師会会員講師・専任教員の補講を受ける。

- ★国家試験対策は日々の学習そのもの。日々の授業、実習の中で知識を定着できるように支援する。模擬試験で知識の定着度を確認し、振り返り学習で強化する。(模擬試験の費用については学校からの補助あり)
- ★国家試験対策係を中心に話し合い、学習目標の設定や計画の立案、個人・グループで学習が進められるよう支援する。
- ★国家試験に向けた学習方法について、異学年間の意見交換の機会をセッティングする。
- ★効率的な学習方法の個別指導と精神面のフォローを行う。

スケジュール



1日・1週間

	1限目	2限目	3限目	4限目	5限目
月	解剖生理学Ⅲ	解剖生理学Ⅲ	保健体育	解剖生理学Ⅰ	
火	学習の基盤Ⅰ	学習の基盤Ⅰ	解剖生理学Ⅰ	解剖生理学Ⅱ	
水	英語Ⅰ	社会学	看護学概論	文学	
木	情報科学	保健医療学	学習の基盤Ⅰ		
金	新入生親睦会				

授業

8:30 ☑ 登校
8:50 ☑ 1限目授業
10:30 ☑ 2限目授業
12:05 ☑ ランチ
13:00 ☑ 3限目授業
14:40 ☑ 4限目授業
16:15 ☑ 放課後
17:20 ☑ 下校



実習

8:00 ☑ 登校
8:30 ☑ 実習開始
9:00 ☑ 実習
12:05 ☑ ランチ
13:00 ☑ 実習
15:30 ☑ カンファレンス
16:30 ☑ 実習終了
17:00 ☑ 帰宅



Q & A

Q.パソコン・プリンターは必要ですか？

A.授業資料の閲覧・レポート課題作成や提出、必要な情報の取得など、パソコン・インターネット・プリンターを使用する機会が多くなりますので、準備をお願いします。

Q.社会人の年齢は？

A.20代後半、30代前半で入学する方も多いですが、40代の方も頑張っています。各学年、20%～30%程の割合で在籍しています。さまざまな経験や知識を活かし、情報交換をしながら学生生活を送っています。

Q.男の人はどれくらいいますか？

A.学年により異なりますが、10%～20%程の割合です。男性も増えてきています。

Q.車での通学はできますか？

A.所定の手続きを行うことで、車での通学は可能です。学校前の駐車場に学年ごとに駐車できます。(無料)

Q.アルバイトはできますか？

A.学業に支障のない程度のアルバイトは可能ですが、実習前・実習中などは学業を優先することをお勧めします。

Q.卒業後の主な就職先は？

A.就職率は100%。卒業生全員が県内外の公立・民間の医療機関に就職しています。そこで経験を積んで認定看護師・専門看護師、看護専門学校・看護大学の教員、JICA海外協力隊の一員として活躍している先輩もいます。

Q.保健師・助産師になれますか？

A.卒後、保健師・助産師養成所入学の受験資格が得られます。各養成所への進学や看護系大学(県外)の3年次に編入する等の方法があります。

実習施設



社会医療法人 財団 中村病院



医療法人 林病院



公立丹南病院



福井赤十字病院



福岡県立病院 こころの医療センター

- ◎介護老人保健施設
- ◎介護老人福祉施設
- ◎訪問看護ステーション
- ◎訪問介護ステーション

- ◎地域包括支援センター
- ◎市町村健診センター
- ◎認定こども園 など



学科定員

- 専門課程 看護学科
- 3年課程（全日制）

●40名／1学年

選考方法

- 推薦入試（前期・中期・後期）
- 社会人入試（前期・中期・後期）
- 一般入試（前期・後期）

学費等

- | | | | |
|--------|--------------|-------|------------|
| ●授業料 | 500,000円（年間） | ●教科書代 | 100,000円程度 |
| ●実習費 | 60,000円（年間） | ●実習衣等 | 50,000円程度 |
| ●施設充実費 | 60,000円（年間） | ●その他 | 30,000円程度 |

修学資金

●武生医師会修学資金

返還免除の制度が設けられています。返還を免除されるのは、次の場合です。

◎卒業後3年以上、武生医師会管内（越前市・南越前町）の病院・医院・診療所の他、社会福祉施設等に就業した者。

●独立行政法人日本学生支援機構奨学金



武生看護専門学校

〒915-0814

福井県越前市中央一丁目9番9号

TEL : 0778-24-1401

FAX : 0778-24-1424

<https://www.takefukango.ac.jp>

mail : info@takefukango.ac.jp

設置者名称：一般社団法人 武生医師会